

# 第12回学校水泳研究会

期日：平成24年6月2日（土曜日）午前10時～12時45分

場所：鳴門教育大学（鳴門市鳴門町高島字中島748）  
健康棟視聴覚室(E202)

主催：学校水泳研究会

後援：徳島県水泳連盟

協賛：スターテック

対象：学校教員、水泳指導者、および将来水泳指導に関わる職に就く予定の学生、水泳選手とその保護者、そのほか水泳に関心のある方々

10:00 開会行事

10:05～10:30 小学校4年生における「浮く・泳ぐ運動」の実践報告-安心・安全水泳の視点から-  
(篠原健真：徳島市立新町小学校)

新学習指導要領で学習内容に大きな変更のあった小学校3・4年生の「浮く・泳ぐ運動」に安心・安全水泳の観点を盛り込んだ水泳学習の実践を報告します。

10:35～11:00 身体がうごく みんなでうごく 心がうごく水泳学習  
～「動きのおもしろさ」に着目した授業づくり

(遠藤史比古：徳島市立国府小学校)

浮く運動の「動きのおもしろさ」を軸に授業を構成することで、ふし浮きの姿勢を意識したまま無駄な力を抜いて楽に泳ぐことをねらいとした小学4年生対象の実践研究（平成23年度徳島県小学校体育科教育研究大会提案授業）を紹介します。

11:05～11:30 学校水泳の実施状況調査と外部委託に関する一考察

(南隆尚：鳴門教育大学)

近年では水泳の授業を学外施設で実施したり指導を外部委託する事例も散見されています。学校の実状に合った水泳授業実施の可能性と課題について検討するために、水泳授業に関して行なった実態調査について報告します。

11:35～12:00 バックプレート使用における競泳トラックスタートの動作分析  
— 構えの前後位置の影響 — (金澤健司：藍住北小学校)

スタート台の最新規格に沿ったバックプレート付きスタート台について、より良いスタート動作をするためのコツや方法・条件について、実験結果を基に具体的に説明します。

12:05～12:45 討論 水泳の授業で何をどう教えるのか 被災を想定した Water Safety の条件とは  
(参加者全員)

参加費用：無料

問合せ先：鳴門教育大学大学院 学校教育研究科

松井研究室（088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp）まで

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

資料等の準備の都合上、参加を希望される方は、予め参加者情報（氏名、所属、連絡先住所、電話、email、等：書式自由）を Email (matsui@naruto-u.ac.jp) または Fax (088-687-6028) でお送りください。



**鳴門教育大学建物配置図**

自動車でお越しの方へ：

国道 11 号鳴門インター北約 1.5kmT 字路を東に倒れ、中山トンネル、小鳴門大橋経由で高島へ渡り、鳴門ウチノ海総合公園前を右折するルートが便利です。大学構内へは正門よりお入り下さり、第 5 駐車場をご利用下さい。